



「食品の最先端工場における自動化とその先」

－実現するために足りないことは何か－

食品製造業では、大きな2つの課題である「品質向上」と「原価削減」、この相反する2つの課題を同時に解決していく努力を日々行っています。その上、with コロナ環境や作業不足にも対応し、生産を維持し続けていく為の対応も求められています。それには「自動化」の取組みが必須になってきています。

そこで、食品工場でのMES(Manufacturing Execution System)導入を推進されている横河電機(株) 相原様に、自動化の取組みポイントについて、ライン検査作業自動化におけるセンサの可能性、センサデータからの予兆保全など、事例を交えて説明いただきます。また、自動化さらにはその先も本当に実現できるのか、不足するものは何か、待たなしにやってくる人手不足などの課題についてディスカッションしたいと思います。

(企画：企画委員 渡部一雄、松本慎也)

<講演要旨>

◆IoT・自動化の取組みポイントについて、事例を交えて紹介

【製造作業の観点】

- ① 人手作業の自動化
- ② ライン検査作業の自動化
- ③ 少ない人数で、誰でも製造が可能な環境構築

【間接・管理業務の観点】

- ④ 突発故障の起こらない環境構築
- ⑤ ペーパーレスでの製造が可能な環境構築
- ⑥ 管理に必要なデータ収集の自動化

- 開催日：2021年10月26日(火) 10:00-12:00
- 場所：zoomによるオンライン開催
- 主催：一般社団法人次世代センサ協議会
- 参加費：次世代センサ協議会会員／無料、非会員／10,000円(消費税込み)
- 参加定員：50名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 参加申込方法：事前登録制となっておりますので、参加ご希望の方は下記リンク先よりお申込みください。
- 参加方法：参加者には、前日までに視聴用 URL と資料 URL をお知らせしますので、資料をダウンロードしてご参加ください。

お申込みはこちらから

■プログラム

10:00~12:00	<p>10:00-11:00</p> <p>講演「食品の最先端工場における自動化とその先」</p> <p>～実現するために足りないことは何か～</p> <p>講師：横河電機(株) ライフ事業本部 営業・ソリューションセンター 生産ソリューション部食品コンサルティング課 相原 正幸氏</p> <p>11:00-12:00</p> <p>質疑応答と意見交換会</p>
-------------	--

※プログラムはやむを得ず変更になる場合があります。

講師プロフィール：相原 正幸氏

2004年横河電機(株)入社以来、食品業種担当としてMESを中心とした情報システムの提案およびプロジェクトの遂行に従事。2013年からは食品工場向け製造管理パッケージ CIMVisionLIBRA の製品企画担当責任者。操業改善アドバイザー(社内資格)として、現場改善の提案からシステム導入を担当し、現在に至る。

- お問い合わせ先：一般社団法人次世代センサ協議会 事務局
Tel.03-6910-0889 Fax.03-6910-0899 E-mail: office@jisedaisensor.org